

かけはし

発行日：令和 5 年 1 1 月 24 日

(発行者)

学校運営協議会会長

但田 勝義

(紙面編集)

学校運営協議会事務局

増田 朗久

令和 5 年度第 2 回学校運営協議会開催！

11 月 15 日（水）に、令和 5 年度第 2 回学校運営協議会を開催しました。

はじめに、但田勝義会長から「少し頑張るだけで私たちにできることがたくさんあるのではないかな。本会議でもこれからどのように取り組んでいったらよいかを話し合っていきましょう」とご挨拶をいただきました。その後「学習の様子や寄宿舍での様子」、「令和 6 年度日程調整について」、「稚内養護学校中間評価について」の 3 点について協議しました。

学習の様子では、各学部の様子を動画やスライドで紹介しました。

小学部は、模擬硬貨を使用してお店屋さん遊びをしている授業や、課題学習や学習発表会の目標設定を、タブレット端末を使用して行っている様子の紹介をしました。中学部は、Google の Classroom を活用して生徒が自分で課題を選択したり、取り組んだ課題を提出したりする様子や、学習発表会の練習と本番の様子を紹介しました。高等部は、作業学習で工程表を用いてランチバックを製作している場面や、製品を学習発表会で販売している様子をご覧いただきました。また、寄宿舍では、清掃や洗濯などの生活に即した日課を終え、おやつを食べたり、余暇活動をしたりしている様子を紹介しました。



令和 6 年度日程調整では、事前に行ったアンケートから、ふれあい公園や育英館大学との連携、冬期間の防災訓練や防災食を喫食する取組、新しい PTA 活動の必要性や学校課題を SNS で発信していく取組などについてご意見をいただいていたことを報告しました。また「本校の行事で参加してみたいもの」として、交通安全啓蒙活動、一日防災学校、避難訓練などが挙げられていたことも紹介しました。こうしたご意見を参考として、今後は町内会や声問小学校と連携を図り、皆さんが参加できるようにスケジュールの調整を行っていくこととしました。

中間評価では、本校職員が「連携・協働」「質の高い授業」を大切にしていることや、多くの職員が働きやすい環境であると感じていることなどを、教職員の自己評価資料を参考に本校校長から報告しました。また、次年度に向けて地域貢献や交流学習、おもに危機管理での地域連携等を大切にしていきたいとの話がありました。

最後は、本校校長の「宿泊学習引率で本物を体験することの大切さを感じた。本校でも小学部から高等部まで、つながりを大切にした学習をしている。今後、さらに皆さんの力をお借りして本物の学びにつなげていきたい。」との言葉で第 2 回学校運営会を終えました。

＊令和 5 年度第 3 回学校運営協議会は、2 月下旬の開催を予定しています。